

2023 年度決算について

2024 年 4 月 30 日

東京電力ホールディングス株式会社

当社は、本日、2023 年度（2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日）の連結業績についてとりまとめました。

売上高は、主に東京電力パワーグリッド株式会社、東京電力エナジーパートナー株式会社において、燃料・市場価格の低下等によって売上が減少したことなどにより、前年度比 1 兆 1,938 億円減の 6 兆 9,183 億円となりました。

経常損益は、主に燃料費等調整制度の期ずれ影響が好転したことなどにより、前年度比 7,109 億円増の 4,255 億円の利益となりました。

また、特別利益に原賠・廃炉等支援機構資金交付金 1,389 億円を計上した一方、特別損失に、原子力損害賠償費 1,511 億円、災害特別損失 1,109 億円を計上したことから、親会社株主に帰属する当期純損益は 2,678 億円の利益となりました。

(単位：億円)

	当年度 (A)	前年度 (B)	比 較	
			A-B	A/B (%)
売 上 高*	69,183	81,122	△ 11,938	85.3
営 業 損 益	2,788	△ 2,289	5,078	—
経 常 損 益	4,255	△ 2,853	7,109	—
特 別 損 益	△ 1,231	1,639	△ 2,871	—
親会社株主に帰属する 当 期 純 損 益	2,678	△ 1,236	3,914	—

※ 調整力取引に係る会計処理の変更に伴う影響額を前年度にも反映している。

【セグメント別の経常損益】

2023 年度のセグメント別の経常損益については、以下のとおりです。

- 東京電力ホールディングス株式会社の経常損益は、特別負担金 2,300 億円の計上などにより、前年度比 1,941 億円減の 1,271 億円の損失となりました。
- 東京電力フュエル&パワー株式会社の経常損益は、JERA における燃料費調整制度の期ずれ影響が好転したことなどにより、前年度比 2,052 億円増の 1,749 億円の利益となりました。
- 東京電力パワーグリッド株式会社の経常損益は、電気調達費用が減少したことなどにより、前年度比 848 億円増の 1,567 億円の利益となりました。

- 東京電力エナジーパートナー株式会社の経常損益は、燃料費等調整制度の期ずれ影響の好転や電気調達費用の減少などにより、前年度比 6,543 億円増の 3,261 億円の利益となりました。
- 東京電力リニューアブルパワー株式会社の経常損益は、卸電力販売が減少したことや修繕費が増加したことなどにより、前年度比 68 億円減の 451 億円の利益となりました。

(単位：億円)

	当年度 (A)	前年度 (B)	比較	
			A-B	A/B (%)
経常損益	4,255	△ 2,853	7,109	—
東京電力ホールディングス	△ 1,271	670	△ 1,941	—
東京電力フュエル&パワー	1,749	△ 303	2,052	—
東京電力パワーグリッド	1,567	719	848	217.8
東京電力エナジーパートナー	3,261	△ 3,282	6,543	—
東京電力リニューアブルパワー	451	519	△ 68	86.9

【2024 年度業績予想】

2024 年度の業績予想については、柏崎刈羽原子力発電所の再稼働時期を見通せないことから、現時点で未定としております。今後、お示しできる状況となった段階で、お知らせいたします。

以上

添付資料

- ・ [決算概要](#)

参考資料

- ・ [2023 年度における経営効率化の実施状況](#)
- ・ 「決算短信等」については [こちら](#) をご覧ください。
- ・ 「特別損益の計上に関するお知らせ」については [こちら](#) をご覧ください。